

## 揺れやすさマップの見方

計測震度	震度階級	状況	
0.5	0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	
	1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	
1.5	2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	
2.5	3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	
3.5	4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	
4.5	5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 耐震性の低い住宅では、壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	
	5強	大半の人が、物につかまらなないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 耐震性の低い住宅では、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	
5.5	6弱	立っていることが困難となる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 耐震性の低い住宅では、壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。	
6.0	6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできない。 耐震性の低い住宅では、壁などに大きなひび割れ・亀裂が入り、傾くものや、倒れるものが多くなる。	
6.5	7	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。 耐震性の低い住宅では、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。	